



実りの秋！！

稲刈り体験をしました。



新型コロナウイルスに振り回されている2021年も実りの秋を迎えました。今年の6月に泥だらけになりながら植えた稲は順調に成長してたくさんの穂を実らせてくれました。新型コロナウイルスの影響で、例年のようにたくさんの人が集まって収穫を喜び合うことはできませんでしたが、子どもたちは一束一束刈り取っていくたびに心の中で収穫の喜びを感じながら作業をしていきました。作業終了後には久保田さんからお米をいただき、久保田さんは「今年は雨が多かったので出来が悪い」と言っていました。しかし、自分たちが植えて自分たちが収穫したお米は特別で、どんな有名なお米よりも美味しかったに違いありません。このような情勢の中、貴重な体験をさせていただいた久保田さんには本当に感謝です。来年こそは新米で作ったおにぎりをみんなで食べることができる状況になっていることを願います。

お米に関する言葉

1『米一粒、汗一粒』

お米を実らせるためには、とてつもない苦労が必要だということ。

2『青田と子どもは褒められぬ』

青々とした上出来に見える田んぼですら、収穫は読めない。出来が良いか悪いか大人にならないと分からないのは子どもも同じ。だから気を抜かず手をかけ続けることが大事。

3『青田から飯になるまで水加減』

田んぼにあるうちからご飯を炊くときまで収穫量も味も水の量に左右される。何事も「良い加減」が大切という意味。

4『米』

米を分解すると八十八、農家さんが八十八回もの手間を掛けて育てたという意味。

5『朝ご飯に味噌汁をかけて食べると出世しない』

朝ご飯をゆっくり食べられない人は無計画で余裕がないため出世しないということ。



支援、指導の選択肢に加えてください

抱えている問題や悩みからの立ち直りを目指して私たちと活動しませんか。個別に立ち直りに向けた計画を立てて伴走型のサポートをしていきます。過去の活動を紹介している『スマサポ通信』をホームページに掲載しています。非行や家庭内暴力、SNS・ゲーム依存、不登校など様々な問題を抱え、現状を変えたいと悩んでいる子どもが近くにいませんか。



山梨県少年サポートネット推進協議会
愛称：スマイルサポートプロジェクト(スマサポ)

《事務局》
山梨県教育委員会 生涯学習課
青少年保護育成担当

TEL 055-223-1357

